

在宅生活改善調査

この調査は、現状のサービス利用では在宅での生活維持が困難な利用者の実態を把握し、住み慣れた地域での生活を継続できるよう、必要な支援等を検討するための調査です。
ご多忙の折、大変ご面倒をおかけいたしますが、ご協力を賜れますようお願いいたします。

【回答にあたってのお願い】

- 事業所の運営に携わっている方(管理者の方)がお答えください。
- 令和5年1月1日現在の状況についてお答えください。
- 「事業所票」と「利用者票」のいずれもご回答ください。

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数及び利用者数をご回答ください。

- ① 所属するケアマネジャーの人数
- ② 自宅等(③を除く)にお住まいの利用者数
- ③ サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームにお住まいの利用者数

ここからは、貴事業所において、過去1年の間(令和4年1月1日～令和4年12月31日)に「自宅等(サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した利用者」についてお聞きます。

問2 貴事業所において、過去1年の間に「自宅等(サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した利用者数」を要介護度別にご記入ください。

	人数
① 要支援1	
② 要支援2	
③ 要介護1	
④ 要介護2	
⑤ 要介護3	
⑥ 要介護4	
⑦ 要介護5	
合計	0人

問3 貴事業所において、過去1年の間に「自宅等(サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から居場所を変更した利用者数」を行き先別にご回答ください。
※一時的に入院して自宅等以外の居場所に移った場合は退院後の居場所をご回答ください。
※①～⑬の合計と、問2の合計人数が一致することをご確認ください。

	市内	市外
① 兄弟・子ども・親戚等の家含む		
② 住宅型有料老人ホーム		
③ 軽費老人ホーム(特定施設除く)		
④ サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)		
⑤ グループホーム		
⑥ 特定施設		
⑦ 地域密着型特定施設		
⑧ 介護老人保健施設		
⑨ 療養型・介護医療院		
⑩ 特別養護老人ホーム		
⑪ 地域密着型特別養護老人ホーム		
⑫ その他		
⑬ 行先を把握していない		
合計	0人	
⑭ 死亡		

合計人数が一致することをご確認ください。

在宅生活改善調査 利用者票

例えば「頻回な身体介護が必要となったため、現在の訪問介護の利用では対応が困難であり、定期巡回サービスの利用がより適切と思う利用者」、認知症に伴う周辺症状の悪化により、介護者の負担が重くなったため、グループホームへの入居がより適切と思う方」が対象です。

[illegible]